

日本女子プロサッカーリーグパートナー契約の締結について

2024年9月11日

読売新聞東京本社

読売新聞東京本社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:村岡彰敏)は、2024年7月1日から2026年6月30日まで、日本女子プロサッカーリーグ(WEリーグ)のオフィシャルメディアパートナーズ契約を、公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ(所在地:東京都渋谷区、チェア:高田春奈氏)と締結することに基本合意しました。

12チームがホーム&アウェー方式の総当たりで戦うWEリーグのレギュラーシーズンを盛り上げるほか、各種イベントの開催などで女子サッカーを応援していきます。WEリーグの理念に賛同し、サッカーをはじめとした女子スポーツを通じて、女性活躍の推進と、1人1人が輝ける社会の実現にも貢献していきます。

読売新聞は長年、プロスポーツをはじめ、学生スポーツ、市民スポーツなど各種スポーツの取材・報道に努める一方、主催事業や後援事業を通して幅広くスポーツ界の発展に尽くしてきました。2023年からは、公益社団法人日本サッカー協会(所在地:東京都文京区、会長:宮本恒靖氏、以下「JFA ※Japan Football Association」)とJFA ナショナルチームパートナー契約(新聞カテゴリー)を結び、全世代のサッカー日本代表を応援しています。今回 WE リーグともパートナーズ契約を結ぶことで、サッカーの魅力をもっと多くの人に知ってもらえる機会の創出に力を入れていきます。これまでの実績と経験を生かし、日本サッカー界の一層の振興に力を注ぐ所存です。

【契約概要】

カテゴリー: オフィシャルメディアパートナーズ

契約期間: 2024年7月1日～2026年6月30日



読売新聞グループは WE リーグを応援しています